

### 3 福祉用具の取扱に係る諸問題について

- (1) 介護保険の福祉用具については、1カ月のレンタル価格が全国平均の3倍を超えるものがあり、中には10倍近いものがあるとされている。
- (2) さらに定価3万5千円の手すりが本人負担500円、給付費4,500円でレンタルされているが、これが6年間で既に36万円近くも給付費として支払われている。この他にケアプラン作成費が6年間で66万円も給付されている。これは無駄な給付の典型ではないか。
- (3) こうした不適切な価格の実態は、レンタル価格の公表や利用者への給付費通知だけでは是正されるとは思えない。

(4) 保険者としては、①実際の販売価格と比較して著しく高額なものには上限を設けるか、②安価な福祉用具は原則購入にするか、などの保険財政を踏まえた措置が必要と考える。

(5) また、既に市場では福祉用具の利用が進んでおり、利用者が自分の趣向に合わせた自費での購入も見られることから、原則のレンタル方式とする規制は緩和すべき。

具体的には、事業者の保有物品のレンタル製品に限る「安全や衛生メンテナンスサービス」を、家族等が保有する福祉用具にも適用できる新たな保険給付の創設が必要ではないか。

# 4 稲城市介護支援ボランティア制度 (特区提案の成果)

## 【直面している課題】

- 団地地区を中心に、地域のコミュニティの力を高める必要が生じてきた。
- 社会参加活動への参加を望む高齢者が増えてきている。

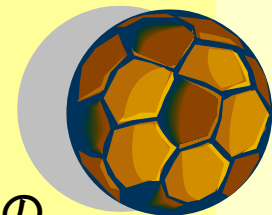
## 【求められる施策】

- 1 高齢者自身の介護予防につながる社会参加活動(自助)を支援すること。
- 2 元気な高齢者による介護者等への支援ボランティア(共助・互助)を褒賞・奨励すること。
- 3 上記の結果、地域支援事業費、介護給付費等の費用を直接・間接的に抑制すること(給付費等の抑制)。

## 【稲城市の新たな地域支援事業】

### 「介護支援ボランティア制度」

- 高齢者の社会参加を支援し、介護予防の効果を期待するもの。
- 元気な高齢者を増やす取り組み。



# 稲城市介護支援ボランティア制度とは？

- 高齢者の介護支援ボランティア活動実績等を評価したうえでポイントを付与し、その高齢者の申出により、そのポイントを換金した交付金を交付する制度

介護支援ボランティア活動でスタンプ押印をもらう。



スタンプを集めてポイントに換える。



申請でポイントの交付金(5,000円)を受け取ることができる。

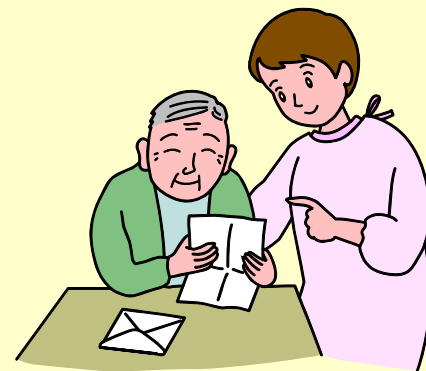
- 当面、稲城市では、高齢者が介護支援ボランティア活動実績に応じて付与されたポイントを活用し、実質的な介護保険料負担の軽減を行う。

# 稲城市介護支援ボランティアの登録状況等

介護支援ボランティア登録者数 299人

最高齢91歳、90歳以上3名、要支援者5名（平成21年5月3日）

受け入れ機関等 18団体



# 稲城市介護支援ボランティア制度の実施スキーム

保険者(稲城市)

地域支援事業(介護予防事業)

介護支援ボランティアの  
受け入れ機関等

地域支援事業交付金

評価ポイント活用の申出

介護支援  
ボランティア活動

管理機関(社会福祉協議会)

- ・介護支援ボランティアの登録
- ・評価ポイントの管理、付与等

希望により、活動実績に  
応じて評価ポイントを付与

介護支援  
ボランティア

介護支援ボランティアポイント  
転換交付金

# 5 まとめ

- 市町村は、「地域づくり」を通じて、住民が住み慣れた地域にいつまでも安心して住み続けることができることを実現したいと考えている。
- 地域づくりを実践している多くの市町村では、住民と共に知恵を出し、汗を流して、必要と考える施策を気概を持って実践し、成功している。
- 基本は、そこに住む住民が力を出し合って、自ら創り上げていくことである。
- 介護サービスは、地産地消型のサービスであり、コミュニティ再生や地域活動を支援する仕組みに重点を置くことが、安定した介護基盤の構築に資するものと考えます。
- こうした観点から、介護保険制度に関する規制緩和を一層進めていただくことを期待したい。